

リストアントしたいあなたへ

音羽中学校一年 向すす

失敗しない人なんて、いるのでしょうか。
いいえ、誰もが一度は失敗を経験しているで
しょう。私も何度も失敗の中で気付けなかつたこと
すが、自分の失敗の中で気付けなかつたこと
に、他人の失敗を見て気付くことができまし
た。今からするお話は、私が友達の失敗から
気付いたこと、感じたことから考えたことに
ついてのお話です。

私が通っていた小学校の先生の中には、「
名札チエツク」と題して、名札をつけていな
い人や忘れた人の人數をクラス毎に数える先
生がわられました。名札を忘れた人がいない
状態を維持できれば、そのクラスの記録が更
新されるゲームのようなものでした。私たち
のクラスでは、名札を忘れる人がだんだん減
り、記録は伸びていきました。ある時、一人の
クラスメイトが名札を忘れてしました。一人の
クラスメイトが名札を忘れてしました。

ない表情をしていました。名札を忘れたクラ

スメートは、泣きながら、何度も

「ごめん」

と言いました。その子にヒツて、この出来事

は大きな後悔になってしまったと思します。

でも、その後その子は一切、忘れ物をしなくな

なりました。ある日、私がクラスメートの予

定表を配っているとその子の予定表が目に入

りました。その子の予定表には、「絶対に入

り物をしない。三回見直す!」と太字で書か

れていました。私はとても感動しました。名

札を忘れてしまつたことはもう取り消せない

けれど、次は絶対に同じ鍋ちを繰り返さない

ようにしようという思いが強く伝わつてきました

からです。「やり直したい。」あの時何でそ

うしがかつたのだろう。」そう思い後悔するこ

とは誰にでもあります。でも、その失

敗の後で、自分がどう考え、どう動くかどう

かが一番重要だヒ、その子の失敗で気付きま

した。

それと同時に、犯罪や非行と忘れ物は、少し似ているなと考えました。犯罪を犯してしまった人や、非行に走ってしまった人は、忘れ物をしてしまった人と同じように、やり直せると思うんです。犯罪を犯した事実も、非行に走った経歴も一生取り消すことはできなければいけれど、その人たちがその後どう考え、どう動くかで、新たに人生をやり直すことができると思っています。そういう面で、犯罪や非行は忘れ物と似ています。それは、忘れ物は自分が困るだけですが、犯罪や非行は自分よりも他人に被害がおよぶところです。忘れ物は許せる失敗でも、犯罪は許されないのです。だから、まずは、犯罪や非行を防いでいるかないといけないと思います。

私たちには直接、犯罪や非行を防げるようだ大きな力はありません。私たちにできることはとても小さなこと。ですが、「ちりも積も

れば山となる」と言うように、例えば、学校の生徒一人一人が他人の気持ちを考えて行動するだけでも、学校内で起こりうるいじめなどの犯罪を防げると思うんです。社会でも、人の気持ちを考えずに行動する人がいるから犯罪や非行が起こってしまうんだと私は思います。だから、一人一人が他人の気持ちを考えた行動をできるように、学校でトイレのスリップパをそろえる運動を広げればよいと考えます。次に使う人のことを考えて、トイレのスリップパをそろえることは、まさに他人の気持ちを考へることにつながります。そんな小さくする運動」の一冊だと思います。

犯罪を犯してしまった人や、非行に走ってしまった人がもう一度帰ってこられる、リスクを恐んでもらいたいと思います。犯罪を犯した人や非行に走った人は、もちろん悪い人です。でも、その人たちが反省して、立ち直ろうとして、悪い人から良い

人に更生しようとしてすることを許せる社会がいいです。家に帰った時に、「おかえり」と言われると、なんだか安心しませんか。地域でも、そんな風に「おはよう」や「おつかれ」の声が増えたら、誰もが安心して帰れる街になると思します。だから、私たちがいさつをすることで明るい社会に一歩近づくことができると考えます。

犯罪を犯してしまったり非行に走ってしまつた事実は消せないけれど、その人たちがもう一度やり直すことを許し、応援できる人でいいのはいの社会を目指したいです。そのためには、私にできることはすごく小さなことですが、そんな小さいことをあたり前にできる人が増えたら、この社会は変わると信じていま